

平成 29 年 3 月 31 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 U C S  
 代 表 者 代表取締役社長 後藤 秀樹  
 (コード：8787 東証 JASDAQ)  
 問合せ先 取締役業務本部長 外山 綱正  
 (TEL : 0587-24-9028)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 9 月 26 日に公表いたしました平成 29 年 2 月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

平成 29 年 2 月期通期業績予想の修正（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）

|                              | 営業収益          | 営業利益       | 経常利益       | 当期純利益     | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|------------------------------|---------------|------------|------------|-----------|-----------------|
| 前回発表予想 (A)                   | 百万円<br>20,135 | 百万円<br>160 | 百万円<br>160 | 百万円<br>80 | 円 銭<br>4.25     |
| 今回修正予想 (B)                   | 19,990        | 300        | 300        | 19        | 1.01            |
| 増減額 (B - A)                  | △145          | 140        | 140        | △61       | —               |
| 増減率 (%)                      | △0.7          | 87.5       | 87.5       | △76.3     | —               |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 28 年 2 月期) | 19,500        | 3,837      | 3,840      | 2,333     | 124.07          |

#### 2. 修正の理由

通期の業績予想につきまして、営業収益は、個人消費の停滞によりクレジットカードショッピングならびに電子マネーの取扱高伸張が鈍化した影響で、小幅ながら前回予想を下回る見通しです。

営業利益、経常利益は、クレジットカードの IC 化に伴う発行費用の計上方法の変更に加え、カード発行業務の効率化や支払利息の減少により営業費用の増加が抑制されたことで、前回予想を上回る見通しです。

しかしながら、当期純利益は、法人税率の変更による税金費用の負担が、平成 29 年 2 月期第 2 四半期に実施した利息損失引当金の追加繰入等より増加したため、前回予想を下回る見通しです。

これらの結果、営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益につきまして前回予想を修正することといたしました。

※上記業績予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上